

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	仙台デイサポート 西多賀そらまめ			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 24日		～	2025年 2月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数)	19名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 19日		～	2025年 2月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 5日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の方も子ども達と参加できるイベントを企画することで、ご家庭では見られない子どもの様子を間近で見られることに対して好評を頂いています。	長町そら、太白だんだんとの合同運動会の開催や、福祉まつりウエルフェアへの参加。コロナ禍前には、合同夏祭りも開催していました。	大人（職員）だけの意見だけでなく、子どもからの意見も取り入れて、子どもにも役割を与えています。
2	様々な体験学習を通して、子どもが達成感を得られ自己肯定感が高まる活動を取り入れています。	田尻でのトマト狩り、ザリガニ釣り、福祉まつりウエルフェアへの参加、介護施設へ訪問しての音楽発表等、子どもが活躍できる場をたくさん設けています。	イベント当日に向けて実行委員体制を作り、計画を密に立てています。改善点等は次回開催に向けての課題となるため毎年より良いイベントになっています。
3	保護者の困り事を聞いて可能な範囲にはなりますが、要望を受け入れたり、助言することで保護者との信頼関係が築けています。	日々の課題内容の変更、送迎の変更、長期休みに取り入れてほしい内容等を可能な範囲で意見を受け入れています。	日々の送迎時の引き渡しの際に、サービス提供記録に記入しきれなかった内容に関しては、子どもの様子を細かく報告しています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	障がいのない子どもと活動する機会が少ない	過去に一度児童館に行き、児童館の子ども達と関わる場を設けたが、放課後等デイサービスの子供達は室内の隅に行き児童館の子ども達と関わる事が出来ませんでした。	いきなり障がいの無い子ども達の輪の中に入れるのではなく、個々に自信をつけてもらうことで、障がいのない子ども達の輪の中に入っていきけるのではないかと考えたため、自信や達成感を得られる活動の企画を今後もしていきます。
2	利用児童の様子は、定期的に発行している通信で保護者が周知しているが、専門的な資格を持つ職員が配置されているのか保護者に知られていない。	子どもの様子ばかりに着目し、働く職員の情報を開示していませんでした。	毎年新年度に職員紹介、資格等を載せた広報の発行し、職員が受けた研修等もお知らせする機会を増やしたいと思います。
3	父母会の活動や保護者会の活動がない。	以前は保護者会を開催していましたが、働いているご家庭が多く参加者が少なかったため回数が減っていききました。	合同運動会では、「行きたいけど利用日じゃない」という意見もあったので、保護者同伴であれば参加可能ということをお呼びかけしていけば、今より参加家族が増え保護者交流の場が増えるのではないかと考えます。